

令和
6年度

埼玉県推奨図書



高校生・青年向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに読んでほしい図書を薦めています■

友だちが しんどいなくなる本



石田光規／著
講談社

「友だち」って、何？課題ノートを見せてあげたら友だち？SNSで既読や「いいね」を付けないと、友だちじゃないの？SNSが無かった頃は、みんなどうやって友だち付き合いしていたの？—そんな問いに、社会学の視点からヒントをくれる一冊。

弟は 僕のヒーロー



ジャコモ・マツァリオール／著
関口英子／訳
小学館

弟のジョヴァンニは「特別な子」として生まれた。彼なりのテンポがあるのだ。広場の真ん中でいきなり音楽に合わせて踊ります。二人の姉のために毎日庭で花を摘む。花がなければ枯葉を持ってくる。これはそんなジョヴァンニを兄から見た物語。

続 窓ぎわの トットちゃん



黒柳徹子／著
講談社

『窓ぎわのトットちゃん』42年ぶりの続編！徹子という名前が発音できずに「トットちゃん」と呼んでいた黒柳徹子さん。ハイカラな家庭、東京の女学校、NHKや芸能界など興味深い人生を送るが、特に幼少期の戦争体験は一読の価値あり。

私たちの世代は



瀬尾まいこ／著
文藝春秋

新型コロナウイルス感染症により、引き起こされた環境に適応できなかった牙と心晴。不自由で息苦しかったあの日々はなんだったのだろうか。いじめにあたり、ひきこもりになった二人が就職活動で出会い、それぞれ悩み苦しみながらも前を向いて歩いていく。

八秒で跳べ



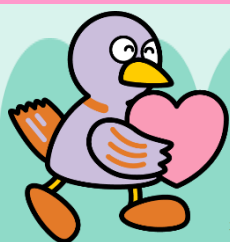
坪田侑也／著
文藝春秋

明慶高校バレー部2年の宮下景は、全国大会予選直前に靭帯を損傷。チームも全国大会出場を逃してしまう。それ以来、景はバレーとの向き合い方に悩みはじめる。仲間との対立や、怪我のきっかけとなった同級生真島綾との関わりのなかで見つけた景の答えとは一。

部活動や自分の好きなことに高校の三年間という短い時間を捧げることの尊さ、高校生の成長に胸を打たれました。思い悩むからこそ、自分自身を深く見つめ直し、自分の本心に気づくことができる。そして次の一步を大きく踏み出すことができる。毎日を頑張る高校生にぜひ読んでほしい青春讃歌です。

埼玉県立春日部高等学校

1年生



埼玉県マスコット
「コバトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

図書一覧はこちら

